

宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品の保存・公開の

在り方に関する有識者懇談会提言（平成30年6月27日）

座長：宮田 亮平 文化庁長官

特別顧問：高階 秀爾 大原美術館館長

<主な内容>

- 皇室由来の貴重な美術品を適切に保存し、広く公開する役割・機能を充実させる。
（収蔵面積 980㎡→約4,000㎡ 展示面積 160㎡→約1,300㎡）
- 収蔵・公開・学芸機能の一体的整備を行い、広報等の情報発信機能を強化する。



狩野永徳「唐獅子図屏風」
東京国立博物館「美を紡ぐ」展へ貸出し



横山大観「輝く大八洲」
茨城県近代美術館 国体記念「横山大観」展へ貸出し



高階隆兼「春日権現験記絵」
京都市京セラ美術館「京都の国宝展」へ
貸出し予定



「古筆短冊手鑑」
石川県立美術館「石川の文化財(仮称)」へ
貸出し予定

<これまでの取組>

- 新施設について、今年度より建設工事に着手。
- 地方の博物館・美術館等への貸出しを実施。
- 『日本美を守り伝える「紡ぐプロジェクト」—皇室の至宝・国宝プロジェクト—』（平成30年11月～）特別展 御即位30年記念「両陛下と文化交流—日本美を伝える—」・「美を紡ぐ 日本美術の名品—雪舟、永徳から光琳、北斎まで—」（東京国立博物館）への出品。

<今後の取組>

- **令和4年（2022年）のI期開館・令和7年（2025年）の全館開館を目指す。**
- **「地域ゆかりの文化資産」地方展開事業(文化庁)と連携して地方の博物館・美術館等への貸出しを拡充。**
- **「紡ぐプロジェクト」との協力事業（展覧会のほか、ポータルサイト「紡ぐギャラリー」での収蔵品紹介等）**
- **以上の取組を令和2年1月新設予定の長官官房参事官を司令塔に推進。学芸員等も増強。**

【今後の主な貸出し予定】

- ・東京藝術大学大学美術館 「御即位記念特別展「雅楽の美」」（令和2年4月～5月）
- ・京都市京セラ美術館「京都の国宝展—守り伝える日本のたから—（仮称）」（令和2年4月～6月）
- ・京都国立博物館「皇室のかがやき—伝統のいろ 雅のかたち—（仮称）」（令和2年10月～11月）